

# JVC

## ワイヤレスヘッドホンシステム

# 型名 HA-WD200

## 取扱説明書

保証書付



### \*お買い上げありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について、下記アドレスのホームページより、「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと、製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。  
今後のよりよい製品開発のために「ユーザーアンケート」にもご協力をお願いいたします。  
<http://www3.jvckenwood.com/reg/>



B5A-1724-10

## 主な仕様

一般仕様	
送信周波数帯	2.4 GHz 帯
変調方式	FH-SS方式
受信距離	約 30メートル*1

ヘッドホン (HA-WD200R)	
型式	ダイナミック型 スピーカーユニット: 口径40 mm
再生周波数帯域	20 Hz~21,000 Hz
電源	付属の専用充電式 ニッケル水素電池 (1.2 V/700 mAh)×2
電池持続時間	約10時間 (1 mW+1 mW出力時)*1
質量	約 238 g (付属の専用充電式ニッケル 水素電池×2含む)

- \*1 使用条件によって変わります。  
・本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

### ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **JVCケンウッドカスタマーサポートセンター**

**0120-2727-87**

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は  
携帯電話・PHS **0570-010-114** (ナビダイヤル)  
一部IP電話 **045-450-8950**  
FAX **045-450-2308**  
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

### 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2016 JVCKENWOOD Corporation

## 保証書

### 持込修理

品名	ワイヤレスヘッドホンシステム	製造番号	
型名	HA-WD200		
お客様	お名前	ふりがな	様
	ご住所	〒- - - - - 電話( - - - - - )	
お買い上げ年月日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日から <b>本体 1年間</b>
お買い上げ店	住所・店名・電話		

### お客様へのお願い

- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一、記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
- ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼にれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

## 送信機 (HA-WD200T)

電源	DC 5 V 付属 A C アダプター使用 (JD1011-000)
音声入力	Φ3.5 mmステレオミニプラグ
外形寸法	幅 18.6 cm × 高さ 6.0 cm × 厚さ 12.1 cm
質量	約 230 g

### 付属品・添付物

- ・取扱説明書 ×1
- ・専用 A C アダプター (JD1011-000) ×1
- ・変換ケーブル ×1  
(φ3.5 mm ステレオミニジャック・ピンプラグ×2/0.1 m)
- ・専用充電式ニッケル水素電池 (JD1010-000A) ×2

## 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

### ● 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

● 絵表示の説明	注意をうながす記号	行為を指示する記号	行為を禁止する記号
			

## ヘッドホン・送信機・A C アダプターについて

### ⚠ 警告

- 心臓にペースメーカーを装着している方は使用しない。  
ペースメーカーが、本システムの電波の影響を受ける恐れがあります。
- 病院などの医療機関、医療機器の近くでは本製品を使用しない。  
電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。

### ■ 万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- ・ 煙が出ている、異臭がする
- ・ 内部に水や物が入ったとき
- ・ 落としたり、破損したとき
- ・ 電源コード (A C アダプター) が傷んだとき

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ず A C アダプターをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

### ■ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

故障、火災・感電の原因になります。

### ■ この機器を分解・改造しない。

故障、火災・感電の原因になります。

### ■ 火のそばや熱器具の周辺など高温になる場所で、使用したり、充電したり、放置しない。

### ■ 送信機の充電端子を、金属製のネックレスやコインなどの金属小物とでショートさせない。

### ■ ニッケル水素充電電池と本機の取り扱いについて

充電するときは必ずこの機器 (ヘッドホン、送信機) を使用する。この機器で、付属の充電電池以外を充電しない。

### ⚠ 警告

- 電池のプラス (+) とマイナス (-) の向きを正しく入れる。  
電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 火の中に投入したり、加熱しない。
- 電池をショートさせない。また、金属製のネックレスやコインなどの金属小物といっしょに携帯または保管しない。
- 変形させたり、分解、改造したり、直接はんだ付けしない。  
故障、火災・感電の原因になります。
- 電池を小さなお子様の手の届くところに置かない。  
誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
- 充電の際に所定の充電時間 (約5時間) を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。

## 充電式電池について

### ⚠ 注意

- 付属電池以外の充電電池または乾電池は使用しない。  
充電電池または乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・ 万一、漏れた液体が目に入ると、失明の恐れがあるので、こすらないですぐにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。また、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に障害を起こすことがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 種類の異なる電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。

### ■ 水や海水などにつけたり濡らさない。また、手がぬれた状態で電池に触らない。

### ■ 長時間使用しない場合は、使用機器から電池を取り出して、常温の湿気の少ないところで保管する。

電池から液がもれて、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

### 使用上のご注意

- ・ 本機の近くでラジオや携帯電話などをお使いになると、ノイズが入ることがあります。そのときは本機から離してください。
- ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、湿気の多いところでのご使用、放置は故障の原因になりますので避けてください。
- ・ ヘッドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止してください。使用を続けると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
- ・ イヤーパッドは通常の使用や保存状態でも、経年変化で自然劣化する場合があります。劣化時は早めにイヤーパッドの交換をお勧めいたします。  
裏面の「部品交換・購入の際には」をご覧ください。
- ・ 汚れがひどい場合は中性洗剤を布などに含ませてふきってください。
- ・ シンナーやベンジンなどは絶対に使わないでください。

## 充電式電池のリサイクルについて



Ni-MH

このマークはニッケル水素充電電池のリサイクルマークです。

付属の充電式電池にはリサイクル可能なニッケル水素充電電池を使用していますので、ご使用済みの充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。(付属充電電池の金属部分にテープを貼

お問い合わせ：一般社団法人JBRC <http://www.jbrc.com>

## はじめてお使いになる場合は

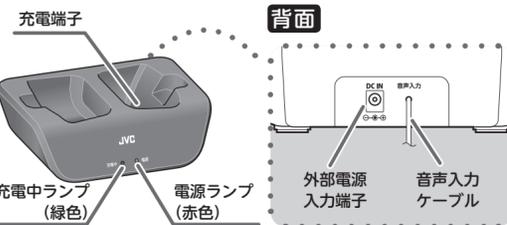
- 専用ACアダプターが入っている箱の中に、専用充電式ニッケル水素電池(x2)と変換ケーブル(x1)が入っていることをご確認ください。
- お使いになる前に「2.電池を入れ、充電する」の項目をご覧ください。
- 必ず充電を行なってください。

## 各部の名称

### ヘッドホン



### 送信機



# 1. 接続する

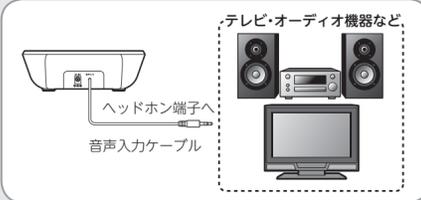
### ご注意

- 音声入力ケーブルを抜き差しするときは、接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の電源を切るか、音量を最小にしてください。
- ケーブルは伸ばして使用してください。束ねたままでの使用はしないでください。

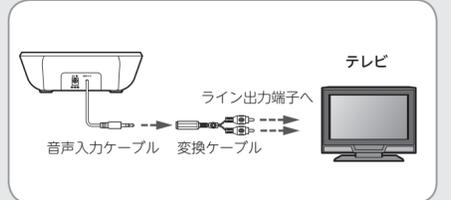
### 音声入力ケーブルの接続

オーディオ機器に接続する場合は **A**、テレビに接続する場合は **A** または **B** の方法で接続してください。

**A** テレビやオーディオ機器などのヘッドホン端子に音声入力ケーブルを接続する。



**B** 音声入力ケーブルに付属の変換ケーブルを接続し、テレビのライン出力端子に接続する。



### ご参考に

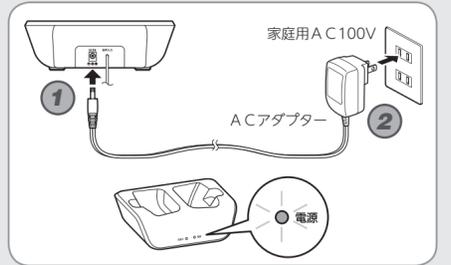
- テレビのヘッドホン端子にプラグを接続するとテレビのスピーカーから音が出なくなる場合があります。テレビのスピーカーとヘッドホンの両方から音を出したい場合は、テレビ側の音声出力設定をテレビのスピーカーとヘッドホンの同時出力に設定してください。(設定はテレビのメニュー画面などから行います。)
- テレビのヘッドホン端子やライン出力端子の出力仕様や設定の詳細はテレビの取扱説明書をお読みください。

### ACアダプターの接続

**1** 送信機の外部電源入力端子にACアダプターを接続する。

**2** コンセント(家庭用AC100V)に接続する。

送信機の電源ランプ(赤)が点滅の後、音声入力があると点灯し、音声入力が無ければ消灯します。



# 2. 電池を入れ、充電する

### 電池を入れる

### ご注意

- 本機は充電式のヘッドホンです。お買い上げ時には十分に充電されていません。
- 付属の専用充電電池以外の充電電池または乾電池は使用しないでください。
- 電池を入れる際、ヘッドホン内部に金属などの異物が入らないようご注意ください。

**1** 右イヤerpッドをはずす。

リリースボタンを下に押したまま、右イヤerpッドを手前に引く。



**2** 電池を入れる。

電池ホルダーの○側(パネ側)に電池の○側から入れる。



**3** 右イヤerpッドを取り付ける。



- 右イヤerpッドの上下を確認する。リリースボタンがついている方が上側になります。
- 右イヤerpッドの下側にある爪を下穴にかける。
- 右イヤerpッドの上側にあるリリースボタンを上穴に入れて固定する。カチッと音がします。左イヤerpッドが外れた場合は、同じ方法で取り付けてください。

### 充電する

### ご注意

- 充電端子にゴミやほこりがたまっているときは、取り除いてから充電してください。

**1** ヘッドホンの電源スイッチを「切」にして、電源を切る。

電源ランプ(赤)が消えます。



**2** スライダーを縮める。

スライダーを一番短い状態にします。



一番短い状態にしないと充電できません。

**3** ヘッドホンを送信機に置く。

充電を開始すると、送信機の充電中ランプ(緑)が点灯します。点灯しない場合は、ヘッドホンを置きなおしてください。

充電が終了すると、送信機の充電中ランプ(緑)が消灯します。



充電が終了し本機を使用するときもACアダプターを抜かないでください。ACアダプターを抜くと音が出ません。

### 充電の目安

- 音が出ないとき。
- 音がひずんでいるとき。
- ヘッドホンの受信距離が短くなったとき。
- 電源ランプ(赤)がつかないとき。
- 信号ランプ(緑)が点滅しているとき、または、つかないとき。
- ヘッドホンを使用しているときにプーと音がするとき。

### 充電時間の目安

- 最大約7時間で充電が完了します。
- 充電完了後は、約10時間使用できます。(使用条件によって変わります。)
- 充電が終了した後にヘッドホンを送信機に置きなおすと、十分に充電されている状態でも再び充電が始まります。充電中ランプ(緑)が消えるまでしばらく時間が必要ですが、故障ではありません。

### 十分に充電しても使用できる時間が短くなった

充電電池の交換時期です。充電電池を交換するときは必ず指定の充電電池をご利用ください。詳しくは、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

# 3. 音をきく

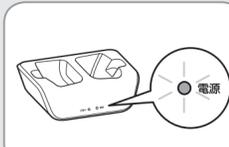
**1** ヘッドホンの電源スイッチを「入」にして、電源を入れる。

電源ランプ(赤)が点灯します。送信機の電波を受信すると信号ランプ(緑)が点灯します。電池残量が少ないときは信号ランプが点滅しますので、充電してください。



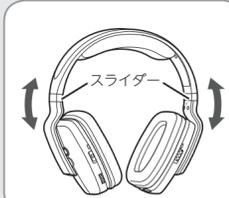
**2** 接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の電源を入れる。

音声信号が入力されると自動的に送信機の電源が入り、送信機の電源ランプ(赤)が点灯します。



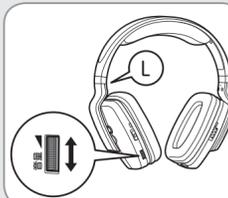
**3** スライダーを調節してヘッドホンを着装する。

装着の際に、髪の毛などをスライダーに挟まないようご注意ください。



**4** ヘッドホンの音量つまみで、音量を調節する。

音量を最大にしても音が小さい場合は、接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の音量を上げてください。



### 音が聞きとりにくいときは

はっきり音声スイッチを「入」にする。

人の声ははっきり聞こえるようになります。



**5** 使用後は、ヘッドホンの電源スイッチを「切」にして、電源を切る。

- 音声の入力が約5分間無いときは、送信機からの電波を停止し、自動的に送信機の電源が切れます。
- ヘッドホンの電源は、自動的に切れません。

### お知らせ

2.4 GHz帯デジタルワイヤレスの特性上、信号伝達の遅延による音の遅れが若干発生します。これは映画や音楽などを鑑賞する場合、一般的には遅れを感じないレベルですが、ご使用の用途やご使用状況によっては、遅れを感じる場合があります。

## 故障かな?と思ったら

症状	対処
ヘッドホンの電源を入れても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドホンの音量を上げてください。</li> <li>接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の音量を上げてください。</li> <li>接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の電源を入れて、再生を開始してください。</li> <li>送信機と接続する機器(テレビやオーディオ機器など)を正しく接続してください。</li> <li>送信機にACアダプターを正しく接続してください。</li> <li>送信機とヘッドホンを近づけてください。</li> </ul>
L(左)側からしか音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>モノラル機器に接続すると、L(左)側しか聞こえません。別売りの変換アダプター(AP-112A)をお使いください。</li> </ul>
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドホンの音量を下げてください。</li> <li>接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の音量を調節してください。</li> <li>充電をする、または新しい電池と交換してください。</li> </ul>
音が途切れる、ノイズ(雑音)が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>充電をする、または新しい電池と交換してください。</li> <li>送信機と接続した機器(テレビやオーディオ機器など)が正しく接続されているか確認してください。</li> <li>送信機とヘッドホンの周辺にある、2.4GHzの周波数を使用する機器(電子レンジ、無線LAN、コードレス電話など)を本機から離してください。</li> </ul>
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信機にヘッドホンのL/R(左右)を確認してきちんと置いてください。</li> <li>送信機やヘッドホンの充電端子に汚れがないか確認してください。汚れがある場合は、柔らかい布でふいてください。</li> <li>ACアダプターの接続を確認してください。</li> <li>充電電池の向きを確認してください。</li> <li>付属の充電電池以外を使用しないでください。</li> </ul>

### 部品交換・購入の際には

以下の部品は消耗品です。ご購入の際、またはお問い合わせの際は、下記の型名と品名、部品番号を、本製品をお買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

品名	部品番号
専用充電式ニッケル水素電池	JD1010-000A
イヤerpッド	JD9333-000A

## ワイヤレス機能について

- 本機は電波法および電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、技術基準適合証明を受けております。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 本機は、日本国内のみで使用いただけます。
- 以下の行為は行わないでください。
  - 分解や改造を行う。
  - 本体に貼り付けている技術適合証明ラベル(マークを含むラベル)をはがす。
- 本体の無線表記について

2.4 FH8

2.4: 2.4 GHz帯を使用する無線設備を表します。

FH: FH-SS方式を表します。

8: 想定される干渉距離が、80メートル以内であることを表します。

全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用しています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用していないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止(電波の発信を停止)してください。
- そのほか、「他の無線局」に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- 本機と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音が途切れたりノイズ(雑音)が出る場合があります。また、本機からも他の機器に影響を与える可能性があります。そのような場合は、干渉する機器を離したり設置する向きを変えるなどしてご使用ください。

### ワイヤレスヘッドホンの受信距離について

本機は、送信機に接続した機器の音声をヘッドホンで無線受信します。送信機から受信可能な距離は、約30メートルです。

- 送信機から受信可能な距離は、周囲の環境や建物の構造により異なります。送信機とヘッドホンの間に電波をさえぎる障害物(金属のドア、壁など)があると、受信距離は短くなります。また、送信機は電波を反射しやすい壁の近くや、電波を放射しにくいスチールラックなどの場所を避けて設置してください。

